

# 半年遅れ 「秋の入学式」

10月01日 11時25分

新型コロナウイルスの影響でこの春の入学式を中止し、オンライン授業を続けていた北九州市の大学で1日、半年遅れの入学式が行われました。1日、入学式を行ったのは、北九州市小倉北区の西南女学院大学です。

式は感染対策のため時間をずらして5回行われ、初回には英語学科の学生58人が参加しました。式では工藤二郎学長が「大学内に立ち入ることもできない、先生や友人に会えない学生生活は大変だったと思います。まずは学業に熱心に取り組んでください」と激励しました。

このあと新入生を代表して田鍋英里さんが「授業だけでなく、さまざまな活動に積極的に取り組み、充実した学校生活を送っていきます」と誓いのことばを述べました。

大学では感染拡大以降、原則としてオンラインで授業を行ってきたため、新入生の中には1日に初めてキャンパスに足を運ぶ人もいるということです。

今後は原則として対面に切り替える方針で、教室には消毒薬を設置するほか、密にならないよう人数に対して広い教室を割り当てるなどの対策を取るということです。

式に参加した女子学生は「やっと大学生になれたという実感が沸きました。海外留学したいと考えているので、英語をしっかりと学びたいです」と話していました。